

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	議会だより・議会要覧発行事業	会計	一般会計	事業No.	839	施策順No.	91-005
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-10-1		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	議会事務局		
施策	91 市民参画による協働の促進			事業期間	開始	S46	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①市民 ②飯田市への行政視察者(議会関係)							A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		世帯数(年度末現在)	37595	37610	37801	37886			
		行政視察に訪れた議会数	49	71	87	53			
意図	飯田市議会の活動状況を知ることができる								
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		年間発行部数(含臨時号)	172500	138000	172500	138000	139100	175000	A
		議会傍聴者数(人)	131	229	172	220	232	220	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	市内小学校の校外学習に議会の傍聴が活用された。今後は各小中学校に働きかけ家庭から議会活動を発信できる取り組みを行い、若年者の傍聴者の増加を図る。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>[議会だより発行]</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例会毎に発行し、市内全戸に配布するとともに、市議会ホームページにも掲載するなど議会活動の広報としての役割を担っている。議会審議の重要な場である各委員会の審査に関する記事を中心に、質疑答弁や各委員会の調査活動、各会派の政務調査報告などを掲載している。 <p>[飯田市議会要覧]</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会活動の記録として作成し、市側の部課長に提供するとともに、視察対応など対外的な資料としても活用している。 <p>[委員会審査状況の公表]</p> <ul style="list-style-type: none"> FMラジオにより、各定例会の委員会審査の状況を報告している。 <p>[議会報告会]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内6会場において市議会における特徴的な取り組みと委員会毎の審査状況などを報告。市民の皆さんとの意見交換の場を設けている。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	①いいた市議会だよりの発行 ②議会要覧の発行 ③いいた市議会だより及び飯田市議会要覧のホームページへの掲載 ④FMラジオ放送(かざこし歳時記)による委員会審査状況の発信 ⑤議会報告会の開催	①発行部数/1回(部)発行回数/年(回) ②発行部数/1回(部) ③掲載回数 ④放送回数/回 ⑤開催数/回	①34,600部 4回 ② 150部 ③ 5回 ④ 12回 ⑤ 6回
23年度実施計画	①いいた市議会だよりの発行 ②議会要覧の発行 ③いいた市議会だより及び飯田市議会要覧のホームページへの掲載 ④FMラジオ放送(かざこし歳時記)による委員会審査状況の発信 ⑤議会報告会の開催	①発行部数/1回(部)発行回数/年(回) ②発行部数/1回(部) ③掲載回数 ④放送回数/回 ⑤開催数/回	①34,000部 5回 ② 150部 ③ 5回 ④ 12回 ⑤ 6回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		1,693	1,693	1,680		
計(A)		1,693	1,693	1,680		
正規職員所要時間			300			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			1,073			
トータルコスト A+B			2,766			

4 事業に対する市民や議会の意見

<p>【第5次基本構想基本計画推進委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> わかりやすい広報に努めてほしい。 <p>【市民からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市議会だより」について、より見やすい紙面にしてほしい(H21年度議会報告会)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所・市民が協働したまちづくりを進める	施策の成果指標又はムトス指標	協働のまちづくりが進められていると感じている市民の割合 投票率 イ)市議選:64.33%(平成21年4月19日執行)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・「市議会だより」を通じ、市民に対し、議会の審議経過をはじめ議会活動について情報発信を行ってきた。		
	後期に向けた課題	・紙面の内容を充実させ、市民に議会情報の提供を続けていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・字のポイントを大きくし、レイアウトを工夫するなど読みやすい紙面への改善を行ってきた。 ・会派による政務調査の結果や議会による行政評価及び提言、自治基本条例の検証経過など積極的に公開してきた。		
	後期に向けた課題	・市の公式サイト、広報いいだ、ケーブルテレビ、FM放送など他の媒体も複合的に活用し、議会情報を提供していく。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・「議会だより」についてカラー印刷を表紙及び裏表紙に限定したこと、適正な印刷部数とするなどコスト削減に努めた。 ・「市議会要覧」について、視察来訪者には製本したものは1冊の提供とし、他はpdf版を必要部数印刷し対応した。		
	後期に向けた課題	・限られた紙面であるが、コストを意識しつつ内容の充実を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・個々の議員に係る広報は議員または会派の広報紙に掲載することとし、「市議会だより」では各委員会や議会活動全体について広報することとした。		
	後期に向けた課題	・「市議会だより」では引き続き、各委員会や議会活動全体について広報していく。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	・「議会だより」の紙面に傍聴者のアンケート内容を掲載するとともに、市民の意見を編集委員会で報告し、紙面に活かすようにした。		
	後期に向けた課題	・編集にあたり市民の声を活かすため、「アンケート」や「市民モニター制度」を検討する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・議会報告会を開催し議会活動を説明する機会を設けた。		
	後期に向けた課題	・議会活動の理解を得るために、様々な媒体や機会を設定するなど「広報広聴機能の充実」を図る必要がある。 ・市民意見をより市政に反映できる方法を検討する必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--